

計算書類に関する註記(一般会計)

この計算書類は、「公益会計基準」(昭和60年9月17日公益法人指導監督連絡会議決定)によって、作成している。

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法について

投資有価証券については時価基準を採用している。

(2) 減価償却について

有形固定資産については定率法により減価償却を実施している。

(3) 資金の範囲について

資金の範囲には、普通預金、定期預金、未収入金、他会計貸付金、投資有価証券、未払金、前受金及び預り金を含めている。

2. 基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増減高	当期末残高
定期預金	10,000,000	0	10,000,000
合 計	10,000,000	0	10,000,000

3. 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高
普通預金	8,688,562	5,346,370
定期預金	12,549,000	14,213,000
未 収 入 金	66,000	96,000
他 会 計 貸 付 金	27,300,000	27,300,000
投 資 有 価 証 券	14,799,570	14,806,484
合 計	63,403,132	61,761,854
未 払 金	1,382,887	2,231,189
前 受 金	3,400,500	4,542,000
預 り 金		4,400
合 計	4,783,387	6,777,589
次期繰越収支差額	58,619,745	54,984,265